



10周年記念公演「日西フラメンコの祭典」終了

去る2011年9月3日(土)～4日(日)、新国立劇場にて、財団設立10周年の記念公演「日西フラメンコの祭典」が開催されました。ここにその内容についてご報告させていただきます。



プログラム第2部「フィナーレ」より。

●10周年を祝し、豪華メンバーが終結！

早いもので、当財団も設立から10年の月日が経過し、今年9月、「日西フラメンコの祭典」と題したスペシャル公演を開催いたしました。

今回の公演も、5周年公演の時と同様に、台風情報を気にしながらの準備となりました。前日から日本列島に接近していた台風12号の影響で、四国からの飛行機が欠航になるなど、当日までかなり冷や冷やさされましたが、幸いにも東京への直撃は避けられ、多くの方々にご来場いただくことができました。

今回は10周年の節目となる記念公演ということで、当初から予定していたカルメン・レデスマ氏、エル・フンコ夫妻といったスペシャル・ゲストに加え、国内外の舞

踊団への客演及び振付で活躍中のクリージョ・デ・ボルムホス氏、若手舞踊家のクリスティアン・ペレス、アンドイツ・ルイバル、アントニオ・ブエンディアの各氏に、近年、フェスティバルを中心とした様々な国際シーンで人気を博している、ウトレーラ出身の歌手、マリ・ペーニャ氏など、数多くのスペイン人アーティストにご出演いただきました。

また、日本からも、過去のコンクール上位入賞者に加え、現在の日本のフラメンコ界で活躍中の奥濱春彦さん、伊集院史朗さんに賛助出演していただくことになり、当初の予定よりかなり充実した、見ごたえのある舞台になったのではないかと思います。

とにかく公演をより良いものにしたい、という思いか

ら、プログラム内容にも変更があり、当日の朝まで厳しい稽古が繰り返されました。芸術監督の小松原庸子理事も皆さんと練習を共にし、「皆で一丸となって素晴らしい作品を作り上げることができた」と大変喜んでおりました。

出演者の方々も、短い稽古時間の中、さぞかし大変だっただろうと思いますが、さすがは皆、トップクラスの実力者達。目まぐるしく変更が加えられるプログラム内容をもろともせず、複数の演目を見事に踊りきってくれました。

●東日本大震災の復興に向けて

去る3月11日に発生した東日本大震災では、多くの方が被災し、当財団の助成を受けて9月に盛岡で行われる予定だった中田佳代子さんの公演をはじめ、予定されていた公演が次々に中止になるなど、東北在住のフラメンコ関係者の方々も、多大なる影響を受けたようです。

まだまだレッスンすらままならない、といった話を耳にするにつけ、私共の方で、何かしてあげられることはないかと思うに至り、今回の公演に、東北のフラメンコ関係者を100名ほど無料招待いたしました。

招待者の方からは、後日、「東北では、現在、フラメンコの公演などほとんど見る機会はない状況なので、今回の招待はとてうれしかった」といったお言葉もいただきました。また、「少しずつではありますが、前に向かっ



クリージョ、カルメン、マリの3氏掛け合いによるソレアは、その濃密な空気感で観客を魅了した。

て歩き始めています」といった声も徐々に届き始め、今回の公演で、少しでも東北のフラメンコ関係者を元気づけることができたなら良かったな、という思いを新たにしています。

また、今回の公演のチケット代金から50万円を公益財団法人助成財団センターの「東日本大震災支援基金」の方に寄付させていただきました。まだまだ東北では厳しい状況下にある方も多いと思いますが、今後も何らかの形で復興に通ずる支援をおこなっていけたら、と思っております。

●●● 夏のフラメンコ・ワークショップ 報告 ●●●

毎年恒例の夏のワークショップ。今年はクリスティーナ・オヨス氏の指導の下、東京と名古屋の2都市での開講となりました。

●集中力がみなぎっていた東京会場のレッスン

去る8月、クリスティーナ・オヨス氏による夏のワークショップが、東京と名古屋で開催されました。

東京会場のメンバーはCAFフラメンコ・コンクールのファイナリストが中心でしたが、この他、都内でフラメンコ教室を主宰されている先生などからのお申込みがありました。

オヨス氏には、昼クラスではソレア、夜クラスではアレグリアスを振付けていただいたのですが、どちらも10周年記念公演の振付を兼ねていたため、参加した方々の熱の入りようも凄まじく、大変、研ぎ澄まされた雰囲気の中でのレッスンとなりました。

なお、今回のレッスンにあたっては、オヨス氏がスペインで振付用の曲を作り、その音源をi-podに入れて持ってきてくださったため、参加者の皆さんも振りの復習などをする際、大変、役立ったようです。ファイナリストの皆さんにも、公演に向けて効率的に自主練習をしていただけたことができました。

●今年も盛況だった名古屋会場

2006年のマルワスタジオオープン以来、毎年、コンスタントに夏のワークショップを開講している名古屋では、例年、たくさんの方からのお申込みがあるのですが、やはり今年も、キャンセル待ちが出るほどの盛況ぶりとなりました。

あいにく、今年はそのキャンセルもほとんど出ず、見学だけでもさせて欲しい、という皆さまからの熱心な声に応え、急遽、有料での見学もOKということにいたしました。

各クラスの定員（当初予定は20名）も23名までと、ギリギリまで広げたため、スタジオ内はすし詰め状態でしたが、毎年、ここで顔を合わせる参加者が多いこともあり、空き時間に一緒に復習に励むなど、皆さん、和気あいあいとした雰囲気の中でレッスンに取り組んでいらっしゃいました。

東京と違い、スペイン人アーティストによるレッスンの機会がほとんどない名古屋では、練習生の関心も高く、毎年このワークショップを楽しみにしていらっしゃる方

も多いようです。早くも、次年度への期待が高まっているようでした。

●来春には東京にも専用スタジオがオープン!

当財団では、現在、東京にも専用のスタジオを建設中です。これまで東京では、会場の都合もあり、不定期にしか講習会を開催できませんでしたが、スタジオ完成後は、東京においても定期的にワークショップなどを実施していく予定です。

ちなみにオープンは来春を予定しております。新スタジオの詳細につきましては、完成次第、またご報告させていただきますので、皆さま、どうぞご期待ください!



名古屋会場の夜クラスの面々。レッスン終了後、オヨス氏を囲んではい、ポーズ!

平成23年度 助成作品 報告

平成23年度の助成作品を上演された、田村陽子さん、岩田玲子さん、松彩果さんより、公演のご感想をいただきました。なお、震災の影響で公演を行うことができなかった中田佳代子さんについては、事情を鑑み、次年度以降に上演していただくことにいたしました。



(撮影者：伊藤 晃)

De Mar - 海より -

田村 陽子

第一回という記念すべき公演で助成頂きましたことに感謝いたします。

先の東日本大震災を受け、来日拒否→出演者の変更等ございましたが、むしろそのことが良い方向に作用したのではないかと思います。来日したダンサー2人、ミュージシャン6人の共演者に支えられ、今までになく胸が高鳴り、自然と感情が中から溢れてきました。また、照明、音響、舞台のスタッフも素晴らしい方々で、私の頭の中にしかなかったイメージが形をもって舞台上に現れるという…神技??に感動いたしました。

幕が開くまでは色々大変なこともありましたが、忘れてしまいますね…。海の力強さ、光、大地、嵐、星…それぞれの持つ素晴らしさをフラメンコで表現するという試みは、構成段階からイメージが湧き出てきて楽しかったです。踊って表現することはさらに楽しく、時には苦しく…。やっぱりフラメンコって人生ですね。これから先、一生をかけて追求していかなければいけないという思いをさらに強くなりました。

いつも舞台を踏むたびに、踊れることに、産んでくれた親に、ご指導くださる先生方に、支えてくれる家族、友人に、フラメンコと出会えた事に感謝しています!!

会場に足を運んで下さった多くのお客様、本当にありがとうございました!!

fiesta! fiesta!

松 彩果

強い志を持ってスペインに渡ったあの日から、全ての出来事がこのリサイタルに向かっていたのだと振り返っている。五感を開いて過ごした驚きと感動の日々。私の人生に飛び込んできたヘレスのフラメンコ!! そしてキニ!!!

8年前、凄いて思わずキニを探した。そして2年前の夏、ヘレスで聞いた彼のファンダンゴで、意志が固まった。

チャノは5年前、著名な舞踊家のクラスにギターを弾きにきた。フラメンコって凄い☆チャノのブレリアが彼女をそう踊らせているのだ! そしてルイス。決して前には出ず、絶妙なバランスで強烈な脇役となり黒い光を放つバルメーロ。そしていよいよ彼等が横浜にやってきた!!

毎日20時間近く一緒に過ごした。毎晩がフィエスタ☆フィエスタ。今思い返すと、リサイタルの心構えとか、踊りの内容とか、そんなことを考える隙もないほどの彼らとの密な時間、出会ってからの長い長い約束、これら全てが必要だったんだと思う。彼らは舞台の上で全ての気持を私にくれた。

リサイタルの感想を言葉にするのはとても難しい。けれどとても私らしいリサイタルだったと思う。こんな私を沢山の舞台のスペシャリスト達や強力なスタッフが支えてくれた。そして温かいお客様たち…。

リサイタル翌日に父が言った。「スペインから呼んで、あれだけのお客さんに来て頂いて、おまえは図々しいやっちゃんのう!!!」本当に…。



(撮影者：小山 薫)

この度は23年度助成対象作品とさせて頂きまして誠にありがとうございました。

地方で公演を開催致しますのは、練習合わせ等の度に上京、と交通費を含め予算がかさみます。こうして助成頂けますことが、金銭面でも勿論ですが、何より精神面におきましても大きな支えと励ましを頂き、それが力となりまして無事終了致しました。

自分が敬愛してやまないアーティストを招聘し、共演出来ますことは何よりの喜びであります。大きくはない舞台上、共演者のみならずお客さまとも互いの息づかいを感じ、やり取りさせて頂きましたこと、これはフラメンコの醍醐味であり、冥利につきることでありました。舞台上、味わせて頂きました様々な感動と感謝を胸に、また気持ちを新たに精進して参ります。



(撮影者：森田 俊壮)

平成24年度 助成事業 募集案内

平成24年度の助成事業の募集がいよいよ始まります。皆さん、奮ってご応募ください。

■助成金

平成24年4月1日～平成25年3月31日迄に完了予定のスペイン舞踊、音楽に関する公演、イベントの企画に対して総額400万円を助成します。

■助成対象

芸術活動を行っている個人、或いは団体が主催するスペイン舞踊、音楽に関する芸術の普及、向上につながるような国内公演、イベントの企画で、他機関からの助成を受けていないもの。尚、過去に100万円以上の助成を受けたことがある応募者の助成回数は3回迄とします。

■応募方法

応募用紙に上記活動の企画、予算、過去の芸術活動状況等を要約して記入の上、台本、或いはプログラム構成、過去の公演ビデオ又はDVD（10分間）と共に郵送のこと。応募用紙は当財団にご請求ください。また財団ホームページ <http://www.mwf.or.jp/> から入手できます。

■応募期間

平成24年1月10日～2月10日必着

■選考結果

意欲的で、優れた公演、イベントの企画に対して、財団の選考委員による厳正なる審査結果を平成24年3月31日迄に、本人宛通知致します。尚、助成金支給は公演終了後一ヶ月以内の報告書、写真、印刷物等の提出により実施されます。

■問合せ先

公益財団法人スペイン舞踊振興 MARUWA 財団

〒164-0001 東京都中野区中野3-46-13-402

Tel. 03-5328-1852 / Fax. 03-5328-1853

URL <http://www.mwf.or.jp/>

E-mail info@mwf.or.jp

事務局便り

2001年6月に財団が産声を上げてから、2010年4月の公益財団法人への移行認定を経て、今年が10周年の節目の年となりました。この間にスペインへフラメンコ研修に送り出した方々も20名になりました。何よりも嬉しいことは、ビエンナーレの公演をきっかけに、コンクール・ファイナリストの方々に繋がりができ、地方在住の方々

とも連絡を取り合いながら色々な形で刺激しあうことによって創作意欲も生まれ、新たな芸術活動の場を広げていることです。

例年2月に行われていたビエンナーレも10周年記念公演として、9月に開催されましたので、2月はゆっくり来季の計画でもと思っていたのですが、スタジオ・オープンに向けて何かと忙しくなりそ

うです。財団事務所もスタジオと同じビルに引っ越します。場所は三田、都営大江戸線の赤羽橋から徒歩3分、三田国際ビルの正面で、東京タワーもすぐ近くに見え、ロケーションも抜群です。財団スタジオは皆様にも使用していただける予定ですので、オープンしたら是非見学にお立ち寄りいただければ幸いです。(広瀬)